

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	婦人科病理診断におけるバーチャルスライドを用いた外部精度評価に関する研究		
2. 対象患者	以下の期間において、当院で婦人科腫瘍(子宮、卵巣、卵管、腹膜、外陰の腫瘍)の手術を受けられた方		
3. 対象となる期間	2010年1月1日 ~ 2024年3月31日		
4. 実施診療科等	病理診断科・病理部		
5. 研究責任者	氏名	加藤 哲子	所属 病理診断科・病理部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	婦人科病理診断では、組織や細胞を染め出す一般的な染色(=HE染色)とともに"免疫染色"という特別な染色が良性か悪性かの判断や組織型の分類のために大切な手段となっています。免疫染色結果は、どの施設のどの病理医が見ても同じように判定されることが重要であり、そのためには全国レベルで判定の仕方をそろえておく必要があります。それを精度管理といい、第三者に自分の判定が適切かどうかを評価してもらうこと(外部精度評価)が重要です。本研究ではバーチャルスライド(=染色したガラス標本を高精度の画像としてデジタル化したもの)を用いた外部精度評価にどのような免疫染色標本が適しているかを検討します。なお本研究は特定非営利活動法人日本病理精度保証機構(以下NPO機構)からの受託研究として実施します。		
8. 研究の目的	婦人科病理診断におけるバーチャルスライドを用いた外部精度評価事業に当たり、診断の精度評価にどのような標本が適切かを検討します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	病理診断のために使用され診断後も病理部に保管されているHE染色および免疫染色のガラス標本を使用します。これらを再検鏡して免疫染色の判定がどの程度ばらつく可能性があるかを検討し、そのなかから病理診断への影響がとりわけ高く全国レベルでの判定の統一化が重要な10例程度の標本を選定します。それらについてHEおよび免疫染色標本を匿名化した状態で新たに1セット作製し、NPO機構へ送付後、バーチャルスライドに取り込まれます。		
10. 個人情報の保護	データは匿名化(氏名などを削除し、この研究のための識別符号を付与)され、だれのデータかを特定できないようにして解析するため、対象者個人を特定する情報が公開されることはありません。対象者が本研究への参加を希望されない場合は対象から外れますが、不参加の申し出時点ですでにバーチャルスライドを使って外部精度評価がスタートしている場合には対応が不可能となりますことを御理解ください。研究結果を学会や学術論文で報告する場合も、個人情報が公表されることは一切ありません。		
11. 利益相反に関する状況	対象者の費用負担は一切ありません。研究はNPO機構からの奨学寄付金を用いて実施します。利益相反はありません。利益相反については、大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会に届け出ております。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院病理診断科・病理部 准教授 加藤哲子		
	電話	0172 - 39 - 5330	FAX 0172 - 39 - 5329